

高知大学医学部看護学科 年報 Annual Report



2023（令和 5）年度

高知大学医学部看護学科

目 次

はじめに	1
I. 学部及び研究科の目的と概要	2
医学部看護学科 総合人間自然科学研究科看護学専攻（修士課程）	
II. 入学者・卒業生・修了生の状況	14
III. 教職員組織構成	16
IV. 領域別の教育・研究・社会活動	18
基礎看護学講座 基礎看護学領域 臨床看護学講座 成人看護学領域 / 臨床看護学領域 / 小児看護学領域 母性看護学領域 / 助産学領域 / 精神看護学領域 地域看護学講座 高齢者看護学領域 / 在宅看護学領域 / 公衆衛生看護学領域	
V. 研究助成金取得状況	41
VI. 看護学科運営に関する委員会・活動報告	44

はじめに

高知大学医学部看護学科は 1998 年に設置，入学式が挙行され，本年で 25 年を迎えました．さらに，高知医科大学と高知大学は 2003 年に統合されて 20 周年を迎え，記念式典が行われました．2024 年度には高知大学創立 75 周年を迎えるにあたり，様々な記念事業が予定されています．在学生のみならず，卒業生の方にも高知大学での学びを思い出していただける機会になるかと思います．

さて，2020 年に日本国内で最初のコロナ感染者が確認されてから，3 年にわたり 2 類相当として法律の下に強い感染対策措置が行われてきました．本学科の講義や実習にも影響があり，オンライン会議システムを使った講義や実習の一部変更などがありました．本年度 5 月からは 5 類相当に引き下げられ，行動制限の撤廃やマスク着用が任意になったため，人々の行動範囲は拡大し，マスクの着用者も減少しました．本学科でも多くの対面授業が通常通り行われるようになっており，臨地実習や特別な状況を除いてはマスクの着用も任意となっています．構内には学生の活気が戻り，講義や演習だけでなく部活動などの活動も盛んにおこなわれるようになっていきます．台湾大学との国際交流プログラムも再開し，6 名の学生が高知大学や施設・地域で実習を行いました．また，本学から 3 名の学生が台湾大学看護学部で学びました．今後も必要な場面では感染対策を行いながら，活動を拡大させ，看護学科の魅力を発信していきたいと思います．

教員はそれぞれの専門分野の研究に取り組むとともに，領域を横断した研究も行っています．また，研究成果や専門性を活かし，地域社会で活動を行っています．引き続き研究費の獲得や，研究を国内外に広く発信し，その成果を地域社会に還元できるように尽力してまいります．

末筆ではございますが，教育・研究にご支援を賜りました全ての方々に深く感謝を申し上げます．

2024 年 8 月吉日
高知大学医学部看護学科
看護学科長 大坂京子

I. 学部及び研究科の目的と概要

医学部看護学科

医学部看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のところに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成する。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療・看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指す。

看護学科学生教育課程は、高知大学医学部規則第7条の規定に基づき制定された医学部看護学科授業科目履修規則により授業科目を履修するものとし、また、授業の実施に必要な事項については、医学部看護学科授業実施細則に定められている。

看護学科では2022年度入学生から、教育課程（カリキュラム）が改訂され、卒業時の資格取得や専門性を高めることを視野に入れた次の2つのコースがある。このうちいずれかのコースに所属することとしており、2年次12月以降に希望コース調査を実施する。ただし、公衆衛生看護学コースに関しては履修可能な人数に制限（制限を超えた場合は選抜試験がある）や2年次までにあらかじめ履修しておくべき科目がある。養護教諭を目指す場合は履修可能な人数に制限はないものの、入学当初から教職関連科目を計画的に履修し、確実に単位修得しておく必要がある。

2023 年度 医学部看護学科 学年歴・行事

日 程	行 事
2023 年	
4 月 1 日 (土)	学年始め
4 月 3 日 (月)	入学式
4 月 4 日 (火) ～ 4 月 10 日 (月)	各学年オリエンテーション
4 月 5 日 (水) ～ 4 月 8 日 (土)	1 学期 WEB 履修登録期間
4 月 11 日 (火)	1 学期授業開始
4 月 15 日 (土) ・ 16 日 (日)	新入生歓迎イベント
5 月 15 日 (月) ～ 6 月 23 日 (金)	(保) 公衆衛生看護学実習・(実) 地域生活者支援 実習・クリティカルケア看護実習 (4 年生)
5 月 15 日 (月) ～ 6 月 23 日 (金)	養護実習 (4 年生)
7 月 17 日 (月) ～ 8 月 4 日 (金)	統合看護実習・在宅看護実習Ⅱ (4 年生)
7 月 31 日 (月) ～ 8 月 4 日 (金)	1 学期試験期間 (1 年生・2 年生・3 年生)
8 月 5 日 (土)	夏季休業開始
8 月・9 月・10 月・11 月	教職科目集中講義 (2 年生・3 年生)
8 月 31 日 (木)	夏季休業終了
9 月 1 日 (金) ～ 9 月 30 日 (土)	特別授業期間 (1 年生・2 年生・3 年生)
9 月 4 日 (月)	Student Nurse 授与式
9 月 11 日 (月) ～2024 年 2 月 16 日 (金)	臨地実習 (3 年生)
8 月 14 日 (月) ～ 9 月 15 日 (金)	基礎看護学実習Ⅱ・高齢者看護学実習Ⅰ・健やか親 子実習 (2 年生)
9 月 19 日 (火) ～ 9 月 21 日 (木)	2 学期 WEB 履修登録期間
10 月 2 日 (月)	2 学期授業開始
10 月 7 日 (土) ～ 10 月 8 日 (日)	医学部大学祭 (南風祭)
10 月 24 日 (火)	合同慰霊祭 (Covid-19 の為規模を縮小して開催)
12 月 27 日 (水)	冬季休業開始
2024 年	
1 月 5 日 (金)	冬季休業終了
1 月 9 日 (火)	2 学期授業再開
2 月 1 日 (木) ～ 2 月 7 日 (水)	2 学期試験期間 (1 年生・2 年生・3 年次編入生)
2 月 8 日 (木) ～ 2 月 22 日 (木)	コミュニティ共生実習・基礎看護学実習Ⅰ (1 年生)
2 月 8 日 (木) ～ 2 月 29 日 (木)	特別授業期間 (1 年生・2 年生・3 年次編入生)
3 月 1 日 (金)	学年末休業開始
3 月 22 日 (金)	卒業式・学位記授与式
3 月 31 日 (日)	学年末休業終了

(保) 保健師資格関連科目, (実) 看護師実践力育成科目

令和5年度 医学部看護学科 開講科目

令和5年度の看護学科開講科目は次の通りである。

区分	分野等	授業科目	年次	単位数 (時間数)	担当教員
初年次科目		大学基礎論	1	2(30)	石岡洋子/松本知津/濱田佳代子 /吉村澄佳/別府朋加/中島利佳/ ★坂本智香
		学問基礎論	1	2(30)	山脇京子/下元理恵/高橋美美/ 濱田佳代子/石岡洋子/藤井千江 美/佐藤美樹/竹村多加/笹岡晴 香/柴田優里絵/別府朋加/松本 智津/中野葉子/齋藤美和/杉本 加代
		課題探求実践セミナー	1	2(30)	山脇京子/下元理恵/佐藤美樹/ 竹村多加/大坂京子/高橋美美
		大学英語入門	1	2(60)	*Daniel Brownson Ribble/ *Kemper Johanson
		英会話	1	2(60)	*濱田沙織
		情報処理	1	2(30)	*栗原幸男/兵頭勇己
教養科目	人文分野	生命倫理学	1	1(15)	山脇京子/濱田佳代子
		食生活論 (選)	1	1(15)	*鈴木麻希子
		居住環境論 (選)	1	1(15)	*田島昌樹
	社会分野	コミュニケーション論	1	1(15)	高橋美美
		家族社会学	1	1(15)	*若林良和
		社会学	1	1(15)	*池谷江理子
	生命・ 医療分野	環境保健学	1	1(15)	*吾妻 健
		スポーツ科学講義 (選)	1	2(30)	★医学科教員/*永野靖典
		スポーツ科学実技 (選)	1	1(30)	(講師未定・開講せず)
	外国語分野	フランス語 (選)	1	1(30)	*安藤麻貴
		ドイツ語 (選)	1	1(30)	*塩見由利
		韓国朝鮮語 (選)	1	1(30)	*徐 恩卿
		中国語 (選)	1	1(30)	*前田正也
	自然分野				
	キャリア形成 支援分野	教育学・教育課程概論 (選)	1	2(30)	★教育学部教員
		教育心理学概論 (選)	1	2(30)	★教育学部教員
専門科目	基礎医学	身体のしくみ	1	4(60)	奥谷文乃
		栄養学	1	1(15)	★久保田賢/宮本美緒
		生化学	1	1(15)	★久保田賢
		身体の働き	1	2(30)	溝渕俊二
		感染と免疫	2	2(30)	溝渕俊二/杉本加代

	薬の効用と看護	2	1(30)	溝渕俊二
	看護と病態	2	2(30)	溝渕俊二
	病態と治療	3	2(30)	溝渕俊二/* 松崎圭祐
健康支援	看護情報論[演]	1	1(30)	* 栗原幸男
	健康学習援助論	1	1(15)	杉本加代
	臨床心理学	2	1(15)	* 池 雅之
	健康福祉行政論	3	2(30)	* 福田敏秀/奥谷文乃/杉本加代/齋藤美和
	公衆衛生看護学概論 (選)	2	2(30)	齋藤美和/奥谷文乃/杉本加代
	公衆衛生看護技術論 I (選)	2	2(30)	齋藤美和/杉本加代
基礎看護学	基礎看護学概論	1	2(30)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
	生活援助論[演]	1	2(60)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
	看護倫理	1	1(15)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
	看護理論	1	1(15)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美/* 堀見忠司
	治療援助論[演]	1	2(60)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
	ヘルスアセスメント[演]	2	1(30)	中野葉子/笹岡晴香/藤井千江美
	看護過程論	2	2(30)	笹岡晴香/中野葉子
	基礎看護学実習 I	1	1(45)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
	基礎看護学実習 II	2	2(90)	笹岡晴香/中野葉子/藤井千江美
地域・在宅看護学	地域看護学	1	2(30)	齋藤美和/杉本加代/大坂京子/柴田優里絵
	在宅看護学概論	2	2(30)	柴田優里絵
	在宅看護援助論[演]	3	2(60)	柴田優里絵
	コミュニティ共生実習	1	1(45)	齋藤美和/杉本加代/柴田優里絵
	在宅看護学実習 I	3	1(45)	柴田優里絵
	在宅看護学実習 II	4	1(45)	柴田優里絵
成人看護学	成人看護学概論	2	2(30)	山脇京子/佐藤美樹/竹村多加/下元理恵
	成人看護援助論[演]	2	2(60)	山脇京子/佐藤美樹/竹村多加/下元理恵
	がん看護学とターミナルケア	3	2(30)	山脇京子/下元理恵
	成人看護学実習 I	3	3(135)	山脇京子/竹村多加/下元理恵
	成人看護学実習 II	3	3(135)	山脇京子/佐藤美樹/竹村多加
高齢者看護学	高齢者看護学概論	2	2(30)	寺下憲一郎/西井幸香
	高齢者看護援助論[演]	2	2(60)	寺下憲一郎/西井幸香
	高齢者看護学実習 I	2	1(45)	寺下憲一郎/西井幸香
	高齢者看護学実習	3	4(180)	寺下憲一郎/西井幸香

小児看護学	小児看護学概論	2	2(30)	松本智津
	小児看護援助論[演]	3	2(60)	松本智津
	健やか親子実習	2	1(45)	松本智津
	小児看護学実習	3	2(90)	松本智津
母性看護学	母性看護学概論	2	2(30)	吉村澄佳
	母性看護援助論[演]	3	2(60)	吉村澄佳
	母性看護学実習	3	2(90)	吉村澄佳
精神看護学	精神看護学概論	2	2(30)	大坂京子/高橋美美
	精神看護援助論[演]	3	2(60)	大坂京子/高橋美美
	精神看護学実習	3	2(90)	大坂京子/高橋美美
統合と実践	医療安全論	2	1(15)	笹岡晴香/中野葉子
	医療安全論Ⅱ	4	1(15)	大坂京子/佐藤美樹/寺下憲一郎 /松本智津/下元理恵/吉村澄佳/ 川村尚美
	災害看護学[演]	4	1(30)	笹岡晴香/★西山謹吾/藤井千江 美/＊中橋清子
	看護教育・管理学[演]	4	1(30)	笹岡晴香/中野葉子/＊中橋清子
	国際看護活動論[演]	4	1(30)	藤井千江美/＊吾妻 健
	統合看護実習	4	2(90)	看護学科教員
看護研究	保健統計論	3	2(30)	＊中川善典/奥谷文乃
	看護研究の基礎[演]	3	1(30)	大坂京子/溝渕俊二/齋藤美和
	卒業研究[演]	4	2(60)	看護学科教員
看護探求	実践看護英語(選必)	2	1(15)	大坂京子/＊Leah Bollos
	看護先端技術(選必)	2	1(15)	大坂京子/下元理恵
	国際援助と保健資源 (選必)	2	1(15)	＊栗原幸男
	国際援助と保健資源 (選必)	4	2(30)	＊栗原幸男/奥谷文乃
	家族看護学(選必)	2	1(15)	吉村澄佳
	保健医療情報学[演] (選必)	3	2(30)	＊栗原幸男
	原著講読 (選必)	4	2(30)	大坂京子/奥谷文乃
	看護学特別研究 (選必)	2～4	1(15)	大坂京子
	国際比較看護論 (選必)	3	1(15)	(開講せず)
保健師資格関連科目	公衆衛生看護技術論Ⅱ	2	1(15)	杉本加代/齋藤美和
	疫学	3	2(30)	奥谷文乃/杉本加代
	社会保障論	4	2(30)	＊田中きよむ/杉本加代
	地域援助論	3	2(30)	齋藤美和/杉本加代/＊時長美希 /＊川本美香/＊小澤若菜
	公衆衛生看護援助論Ⅱ[演]	3	3(90)	杉本加代/齋藤美和/柴田優里絵 /＊堀池 諒/＊森澤小百合

	養護教諭関連科目	公衆衛生看護援助論Ⅲ	4	2(30)	杉本加代/齋藤美和/川村尚美/ *國藤美紀子
		公衆衛生看護学実習	4	5(225)	杉本加代/奥谷文乃/齋藤美和/ 柴田優里絵
		産業保健論（養護は選択）	4	1(15)	奥谷文乃/杉本加代/齋藤美和/ *植野千鶴子/*梅原俊明
		学校保健論	4	1(15)	奥谷文乃/杉本加代/齋藤美和/ 柴田優里絵/*青木三恵子
		養護概説	2	2(30)	柴田優里/齋藤美和/笹岡晴香/ 大坂京子
	看護師実践力育成科目	地域生活者支援概論[演]	4	2(30)	齋藤美和/高橋美美/吉村澄佳/ 松本智津
		地域生活者支援実習	4	3(135)	（開講せず）
		クリティカルケア看護概論 [演]	4	2(30)	山脇京子/佐藤美樹/竹村多加/ 下元理恵
		クリティカルケア看護実習	4	3(135)	山脇京子/佐藤美樹/竹村多加/ 下元理恵
	養護教諭関連科目	教職入門	1	2(30)	★教育学部教員 他
		教育制度論	1	2(30)	★教育学部教員 他
		特別支援教育入門	1	2(30)	★教育学部教員 他
		道德教育	2	2(30)	★教育学部教員 他
		総合的な学習の時間・特別 活動指導法	2	2(30)	★教育学部教員 他
		教育の方法・技術	2	2(30)	★教育学部教員 他
		生徒指導（養護）	2	2(30)	*藤田毅/齋藤美和
		教育相談	2	2(30)	★教育学部教員 他
		養護実習(事前事後指導含む)	4	5(225)	笹岡晴香/齋藤美和/大坂京子/ 柴田優里絵/★全学教職委員会
		教職実践演習(養護)	4	2(30)	齋藤美和/笹岡晴香/大坂京子/ 柴田優里絵/★加藤誠之/★全学 教職委員会

★：他学部・他学科・エルダープロフェッサー／＊：非常勤講師

※1・2年生は新カリキュラムの科目名，3年生以上は旧カリキュラムの科目名を記載.

卒業論文と研究成果の公表状況

1. 令和5年度卒業生の卒業論文

4年生が16グループに分かれて卒業研究に取り組んだ。

No	氏 名	指導教員	論 文 題 目
1	木村萌々子 武井杏薫	溝渕俊二 宮本美緒 渡部嘉哉	ユズ果皮加工食品の継続摂取による冷え性改善効果
2	菅原ひかる 村松愛音	山脇京子 竹村多加	在宅高齢者におけるフットケアの現状と課題についての文献検討
3	小西未紗 笹岡ケイトエバン 中野真優 水田有紀	佐藤美樹	看護学生の臓器提供の意思表示に至る要因と教育の関係
4	大野沙奈 加茂愛恵 小山璃々 塩田朝香 藤原聖奈	下元理恵	看護学生の献血に対する意識と献血行動に影響する要因
5	井上来美 氏本萌菜 近藤舞美 宮本 奏	大坂京子 西井幸香	女子大生のロコモティブシンドロームの実態と食習慣・運動習慣の関連
6	神谷ひかり 北野優美 齊藤麻生 土井穂葉	高橋美美	看護学生の受け持ち患者との信頼関係構築について
7	磯元日菜 西村輝美 福武一樹 和田望羽	松本智津	入院している子どもに付き添う家族の基本的欲求に対する看護ケアの現状
8	岡本遥佳 岡本鈴音 河村日菜子 木下温佳 毛利有沙 安原帆那	吉村澄佳	オンライン診療でのピル処方に関する看護女子大学生の意識調査
9	川島慧子 篠原瑠美 鳥飼あかり 中野萌々葉 山中梨花子	濱田佳代子 中島利佳	妊婦の災害対策に関連する要因についての文献検討
10	吉良日花 佐賀優菜 早水彩乃 大崎有紗 久保山彩 近森由里	石岡洋子 別府朋加	若年女性の子宮頸がんワクチン接種行動を阻害する要因についての文献検討
11	岸本ななみ 小林亜衣 佐古明音 瀬戸ひかり 谷本友菜	笹岡晴香	養護教諭と学級担任による不登校児童・生徒への対応と連携
12	菅野萌恵 谷久保咲弥	齋藤美和	保健室に利用しづらさを感じるきっかけと養護教諭・保健室の印象
13	清島愛海 田中 元 山崎稀結	奥谷文乃 藤井千江美	若年者における将来子どもを持つ意欲と現行の支援制度に対する知識の関連性
14	新田舞花 玉井佑果 田村幸子 三浦彩里	杉本加代 柴田優里絵	1人暮らしの大学生の防災意識と食料備蓄との関連について
15	小原桃果 梶野愛里菜 後藤 歩 潰本菜々子 細川欣寿 和太 優	中野葉子	南海トラフ地震被害想定地域に居住するA大学看護学生の防災意識の認識について
16	増田風沙 森岡莉世 山地愛萌	溝渕俊二 宮本美緒 渡部嘉哉	ユズ果皮を用いた足浴によるリラクゼーション効果－照度による影響－

2. 令和4年以前の卒業論文の公表状況

該当する公表はなかった。

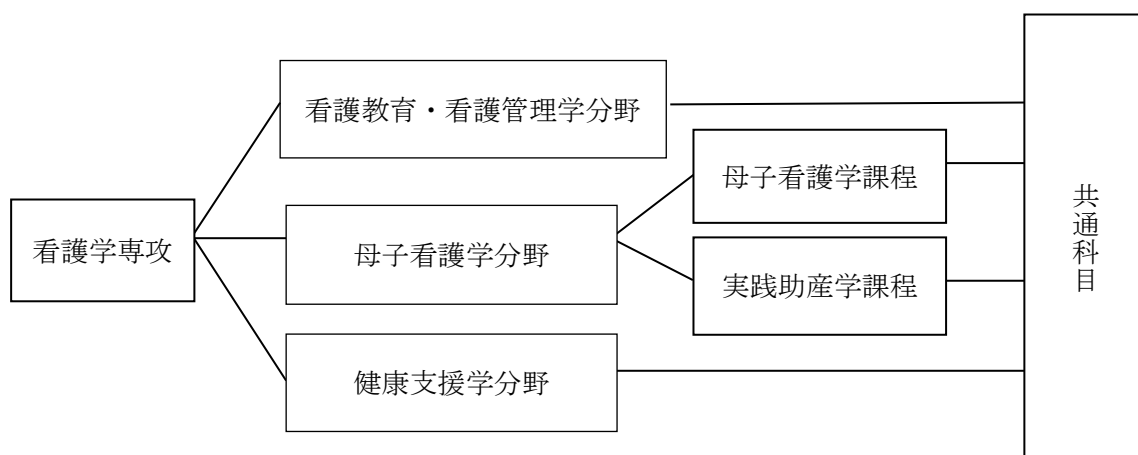
総合人間自然科学研究科看護学専攻（修士課程）

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められている。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身につけた人間力豊かな人材を育成する。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身につけた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者の育成を目指している。

看護学専攻には、看護師養成施設等の看護教員、生涯教育や管理的業務に従事する看護実践者を養成するための「看護教育・看護管理学分野」、母子の健康および生活の中で或は施設における QOL 向上のための看護実践者を養成するための「母子看護学分野」、全ての人を対象として、看護・生活支援・健康増進を行う看護師・保健師・養護教諭の学ぶ場を提供し、社会をリードする実践者・研究者の育成するための「健康支援学分野」を置いている。

母子看護学分野には、母子看護学課程と実践助産学課程の二つの課程を置き、実践助産学課程では助産師の国家試験受験資格の取得とともに高度専門職業人（助産師）の育成を目的としている。

また、それぞれの分野における看護学の視野を広げつつ、看護学において基盤とすべき学問と将来の看護実践を支援する情報処理技術などを習得させるための共通科目を設けている。



2023 年度 看護学専攻 学年歴・行事

日 程	行 事
2023 年	
4 月 1 日 (土)	学年始め
4 月 3 日 (月)	入学式
4 月 5 日 (水)	新入生オリエンテーション
4 月 7 日 (金)	履修届提出締切 (新入生)
4 月 11 日 (火)	第 1 学期授業開始
8 月 5 日 (土)	夏季休業開始
8 月 31 日 (木)	夏季休業終了
9 月 20 日 (水)	秋季修了式 (学位記授与式)
9 月 30 日 (土)	第 1 学期授業終了
10 月 1 日 (日)	創立記念日
10 月 2 日 (月)	第 2 学期授業開始
10 月 7 日 (土)	医学部大学祭
10 月 8 日 (日)	
10 月 24 日 (火)	合同慰霊祭
12 月 20 日 (水)	学位申請書提出締切 (2 年次生)
12 月 27 日 (水)	冬季休業開始
2024 年	
1 月 4 日 (木)	冬季休業終了
1 月 13 日 (土) ・ 1 月 14 日 (日)	大学入試共通テスト
1 月 19 日 (金)	学位論文研究発表会 (2 年次生)
2 月 25 日 (日) ・ 2 月 26 日 (月)	学部入学試験 (前期)
2 月 29 日 (木)	第 2 学期授業終了
3 月 1 日 (金)	学年末休業開始
3 月 12 日 (火)	学部入学試験 (後期)
3 月 22 日 (金)	修了式 (学位記授与式)
3 月 31 日 (日)	学年末休業終了

令和5年度 看護学専攻 開講科目

令和5年度の看護学専攻の開講科目は次の通りである。

区分	授業科目	年次	単位数		担当教員
			講義	演習	
共通科目	健康情報論 *	1	2		☆栗原幸男
	保健統計論 *	1	2		奥谷文乃/齋藤美和
	健康環境論 *	1	2		奥谷文乃/溝渕俊二/西井幸香
	看護研究論 *	1	2		杉本加代/溝渕俊二/笹岡晴香/寺下憲一郎/ 濱田佳代子/齋藤美和/☆栗原幸男
	看護理論 *	1	2		山脇京子/佐藤美樹
	看護倫理 *	1	2		山脇京子/下元理恵/田中理子
	ペアレンティング論 *	1	2		石岡洋子/松本智津
	看護英語 *	1	2		大坂京子/藤井千江美
特別研究 科目	特別研究（研究計画立案）	1・2		2	各指導教員
	特別研究（実験・調査）	1・2		2	〃
	特別研究（ゼミナール）	1・2		2	〃
	特別研究（論文作成）	1・2		2	〃
	特別研究（研究発表）	1・2		2	〃
	課題研究	1・2		6	〃
看護教育・ 看護管理学 分野科目	看護教育・管理学特論Ⅰ	1	2		笹岡晴香/他
	看護教育・管理学特論Ⅱ	1	2		中野葉子
	看護教育・管理学演習Ⅰ	1		2	笹岡晴香/他
	看護教育・管理学演習Ⅱ	1		2	中野葉子
母子看護学 分野科目	母子看護学特論Ⅰ	1	2		石岡洋子/濱田佳代子/松本智津/吉村澄佳/ 中島利佳
	母子看護学特論Ⅱ	1	2		松本智津/濱田佳代子/吉村澄佳/石岡洋子/ 中島利佳/他
	母子看護学演習	1		4	石岡洋子/濱田佳代子/松本智津/吉村澄佳/ 中島利佳
健康支援学 分野科目	生涯生活支援学特論	1	2		佐藤美樹/溝渕俊二/山脇京子/下元理恵/竹 村多加
	生涯生活支援学演習	1		2	山脇京子/佐藤美樹/下元理恵/竹村多加
	地域健康支援学特論	1	2		大坂京子/寺下憲一郎/高橋美美/西井幸香
	地域健康支援学演習	1		2	大坂京子/寺下憲一郎/高橋美美/西井幸香
	公衆衛生看護学特論	1	2		杉本加代/齋藤美和/柴田優里絵
	公衆衛生看護学演習	1		2	奥谷文乃/杉本加代/齋藤美和/柴田優里絵
基礎助産学 科目	助産学概論	1	1		石岡洋子
	ウイメンズヘルスト論	1	2		濱田佳代子
	母子の健康科学特論	1	1		濱田佳代子/溝渕俊二/他

	リプロダクティブ・ヘルス 特論	1	2		濱田佳代子/他
--	--------------------	---	---	--	---------

*：開放科目（他専攻学生の履修を認める科目）， ☆：非常勤講師

区分	授業科目	年次	単位数		担当教員
			講義	演習	
助産学 専門科目	周産期管理特論	1	2		濱田佳代子/奥谷文乃/畠山 豊/兵頭勇己/ 他
	妊娠期診断・技術学特論	1	2		石岡洋子/他
	分娩期診断・技術学特論	1	2		石岡洋子
	産褥期診断・技術学特論	1	1		濱田佳代子
	新生児・乳児期診断・技術 学特論	1	1		濱田佳代子/松本智津/他
	助産診断・技術学演習	1		1	石岡洋子/濱田佳代子/他
	助産過程展開演習	1		1	石岡洋子/濱田佳代子
	地域助産活動論	1	1		濱田佳代子//杉本加代/藤井千江美/他
	地域助産活動論演習（助産 道場）	1・2		1	石岡洋子
	助産管理学	1	1		石岡洋子/他
	助産管理学演習	1・2		1	石岡洋子/大坂京子/高橋美美/他
	助産学実習Ⅰ	1・2		1	濱田佳代子/石岡洋子
助産学実践 科目	助産学実習Ⅱ	1・2		7	石岡洋子/濱田佳代子
	助産学実習Ⅲ	1・2		1	濱田佳代子/石岡洋子
	地域助産学実習	1・2		2	石岡洋子/濱田佳代子

修士論文と研究成果の公表状況

1. 令和5年度修了生の修士論文を以下に示す。

氏 名	主査 副査	論 文 題 目
白石知佳	杉本加代	看護師の大腸がん検診受診状況と生活リズムの関連
	奥谷文乃 寺下憲一郎	
中平真紀	笹岡晴香	医療療養病棟に勤務する看護職と介護職のワーク・エンゲイジメントと組織コミットメント
	奥谷文乃 寺下憲一郎	
堀田美幸	笹岡晴香	看護師の子育て・介護支援制度利用に対する看護師長の支援と職務満足度
	奥谷文乃 寺下憲一郎	
中谷明未	笹岡晴香	看護部長から受ける承認行為と看護師長の経験と成長
	杉本加代 川村尚美	
山崎成美	笹岡晴香	コロナ禍における看護師長の心理的安全性に関する研究
	濱田佳代子 齋藤美和	
関 恵里	笹岡晴香	中規模病院の一般外来に就業する看護師の職業経験の質に関する研究
	杉本加代 川村尚美	
甲斐小晴	石岡洋子	産科医療機関における父親の産後うつ病予防に向けた支援に関する助産師の認識
	杉本加代 松本智津	
寺田春菜	石岡洋子	AYA世代の女子看護学生における乳がんに関する学習ニーズ
	寺下憲一郎 齋藤美和	
山野上慈	奥谷文乃	地域包括ケアシステムに不可欠な医療介護福祉専門職間の人的ネットワークと地域医療情報ネットワークの活用状況
	寺下憲一郎 川村尚美	

2. 令和4年度以前の修了生の研究成果公表状況

令和4年度修了生

小田邦子, 笹岡晴香 (2023) : 中堅看護師の属性に関連した排便ケアの実施状況, 第43回日本看護科学学会学術集会. 山口.
坂本桃菜, 濱田佳代子, 石岡洋子 (2023) : 成熟期にある女性看護職の体格とライフスタイルの関連. 高知大学看護学会誌. 17 (1). 15-23.

令和2年度修了生

成瀬美佐, 佐藤美樹 (2022) : 職場サポートが感染対策リンクナースの役割受容, 仕事意欲に与える影響. 日本環境感染学会誌. 37(3). 78-89.
山村真智子, 佐藤美樹, 松本智津 (2022) : 看護学実習に携わる看護師の学生指導が看護師としての成長に与える要因. 第53回日本看護学会学術集会. 千葉.

Ⅱ. 入学・卒業・修了の状況

1. 医学部看護学科

入学者数

(人)

年度		一般入学者数			3年次編入学者数			入学者数		
		県内	県外	計	県内	県外	計	県内計	県外計	合計
2023 年度	男	1	1	2	1	1	2	2	2	4
	女	18	40	58	5	3	8	24	42	66

卒業者数

(人)

年度	卒業者数		
	女	男	計
2023 年度	61	4	65

卒業生進路状況

(人)

年度	保健師	看護師	進学	教職	その他	合計
2023 年度	6 (3)	46 (11)	6 (3)	7 (0)	0 (0)	65 (17)

() : 高知県内

教員免許等の取得状況

(人)

年度	看護科教員免許			養護教諭Ⅰ種免許		
	取得者数		合計	取得者数		合計
	男	女		男	女	
2023 年度	0	0	0	0	14	14

2. 大学院看護学専攻修士課程

入学者数

(人)

年度	入学者数		
	女	男	計
2023 年度	11	0	11

修了者数

(人)

年度	修了者数		
	女	男	計
2023 年度	9	0	9

修了生進路状況

(人)

年度	保健師	助産師	看護師	教員	進学	その他	計
2023 年度	1	2	5	1	0	0	9

Ⅲ. 教職員組織構成

1. 高知大学教育研究部医療学系看護学部門教員および事務職員

教授	准教授	講師	助教
石岡洋子 大坂京子 奥谷文乃 多田邦子（3/1～） 溝渕俊二 山脇京子	佐藤美樹 笹岡晴香 杉本加代 寺下憲一郎 中野葉子 濱田佳代子 松本智津	川村尚美（5/1～） 齋藤美和 下元理恵 高橋美美 竹村多加 吉村澄佳	柴田優里絵 中島利佳 西井幸香 藤井千江美 別府朋加（～4/30）

講座別

看護学科長		大坂京子			
講座	領域	教授	准教授	講師	助教
基礎看護学	基礎看護学	多田邦子 （3/1～）	笹岡晴香 中野葉子		中島利佳 藤井千江美
臨床看護学	成人看護学	山脇京子	佐藤美樹	下元理恵 竹村多加	
	臨床看護学	溝渕俊二			
	小児看護学		松本智津		
	母性看護学			吉村澄佳	（中島利佳）
	助産学	石岡洋子	濱田佳代子		別府朋加 （～4/30）
	精神看護学	大坂京子		高橋美美	
地域看護学	高齢者看護学		寺下憲一郎		西井幸香
	公衆衛生看護学	奥谷文乃	杉本加代	齋藤美和	
	在宅看護学			川村尚美 （5/1～）	柴田優里絵

看護学科事務	野々宮 遥	森本貴美恵
--------	-------	-------

2. 総合人間自然科学研究科修士課程看護学専攻教員および事務職員

分野別

看護学専攻長	奥谷 文乃			
分野	教授	准教授	講師	助教
看護教育・ 管理学分野	多田邦子 (3/1～)	笹岡晴香 中野葉子		中島利佳 藤井千江美
母子看護学分野	石岡洋子	濱田佳代子 松本智津	吉村澄佳	中島利佳 別府朋加 (～4/30)
健康支援学分野	大坂京子 奥谷文乃 溝渕俊二 山脇京子	佐藤美樹 杉本加代 寺下憲一郎	川村尚美 (5/1～) 齋藤美和 下元理恵 高橋美美 竹村多加	柴田優里絵 西井幸香

看護学科事務	野々宮 遥	森本貴美恵
--------	-------	-------

IV. 領域別の教育・研究・社会活動

基礎看護学講座

基礎看護学領域

〔教員名〕 教授　：多田邦子
　　　　　准教授：笹岡晴香
　　　　　准教授：中野葉子
　　　　　助教　：藤井千江美
　　　　　助教　：中島利佳

【教育活動】

基礎看護学では、看護実践の基盤を形成することをねらいとして、看護とはなにか、その目的や看護の対象となる人々への理解ならびに看護の方法論などについて、必要な知識や技術を教授している。学部教育では、対象に看護の理念や役割などを教授し、看護者として看護の考え方を形成すると共に、看護実践の方法論となる技術について「生活援助技術論」において、身の回りの援助技術から治療援助、看護過程やフィジカルアセスメントなど、原理を学びその技を身につけるように教授している。

また、看護情報論や医療安全、災害看護、国際看護、看護教育・看護管理などについて、対象者の安全を守ると共に効果的な指導のあり方について教授している。

大学院では、看護教育・看護管理学分野に属し、よりよい看護を実践するための看護教育・管理のあり方について大学院生と共に学問への理解を深めている。

【研究活動】

○多田邦子

看護領域における医療器具等の研究

○笹岡晴香

排泄のケアに関する研究

寄生虫感染症予防教育に関する研究

○中野葉子

医療サービスの質に関する研究

医療安全の組織風土に関する研究

看護におけるケアリングとしての技術力理論に関する研究

ケアリング教育の開発に関する研究

○藤井千江美

アフリカの農村地域における母子の健康増進に向けたしくみ作りに関する研究

○中島利佳

医療サービスの質と看護師のモチベーションに関する研究
看護基礎教育に関する研究

【社会活動】

○多田邦子

ー社会活動ー

- ・ 高知女子大学看護学会誌査読委員
- ・ 高知母性衛生学会監事

ーその他ー

- ・ 高知大学医学部附属病院副病院長（病院実務担当）

○笹岡晴香

ー講義ー

- ・ 高知県看護協会保健師助産師看護師実習指導者講習会「実習指導の実際 基礎看護」（2023年9月21日）
- ・ 学校法人龍馬学園龍馬看護ふくし専門学校「レポートの書き方の基本」（2023年10月2日）, 「ケースレポートの書き方」（2024年1月16日）

ーその他ー

- ・ 高知大学看護学同窓会 会長（2023年6月3日まで）, 副会長（2023年6月3日～）
- ・ 高知大学創立75周年記念事業委員会 委員（～2023年6月3日）

○中野葉子

ー講義ー

- ・ 保健師助産師看護師実習者講習会「実習指導の原理:実習指導計画書の概要と作成方法」高知県看護協会（2023年9月20日）
- ・ 地域医療を支える四国病院経営プログラム「看護管理学」（2023年4月～）

ー社会活動ー

- ・ 高知県看護協会認定看護管理者教育運営委員会 委員（2023年6月～）
- ・ 日本看護系大学協議会災害支援対策委員会 委員（2023年4月～）
- ・ The Journal of Nursing Investigations 査読委員
- ・ 広報やすだ11月号寄稿
- ・ 医療法人社団三愛会三船病院 教育プログラム開発支援

ーその他ー

- ・ 高知大学医学部准教授講師会 副会長（2022年7月～）

○藤井千江美

ー講義ー

- ・ 高知開成専門学校「国際看護学」（2023年11月20日, 27日）
- ・ 松下看護専門学校「国際協力」（2023年11月29日, 12月6日, 12月13日）

- ・ 聖バルナバ助産師学院「地域母子保健」(2023 年 12 月 9 日)
- ・ 奈良県立畝傍高等学校「1 年生の課題探求実践に向けた出前講座」(2024 年 1 月 24 日)
- －その他－
- ・ NPO 法人 HANDS (Health and Development Service) 理事兼シエラレオネプロジェクト担当

○中島利佳

－社会活動－

- ・ 高知県看護協会 選挙管理委員会
- ・ 高知看護教育研究会 会計
- ・ 広報やすだ 9 月号寄稿

－その他－

- ・ 高知大学看護学同窓会 監査 (～2023 年 6 月 3 日)

【研究業績】

－論文－

1. Yoko Nakano, Tomoya Yokotani, Yoshiyuki Takashima, Feni Betriana, Kyoko Oosaka, Mutsuko Kataoka, Tetsuya Tanioka, Rozzano C Locsin. (2023): Nurse Managers perception and Practice on the theory of Technological Competency as Caring in Nursing: A Preliminary Study. Journal Keperawatan Soedirman. 18(2). 91-100. DOI: 10.20884/1.jks.2023.18.2.8357.

－学会発表－

1. 小田邦子, 笹岡晴香 (2023) : 中堅看護師の属性に関連した排便ケアの実施状況. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口.
2. 細川欣寿, 中野葉子, 後藤 歩, 小原桃果, 和太 優, 梶野愛里菜, 横谷知也 (2023) : トラフ地震被害想定地域に居住する A 大学看護学生の防災意識の認識. 第 29 回日本災害医学会総会学術集会. 京都
3. Yoko Nakano, Tomoya Yokotani, Hidemi Yoshii, Feni Betriana, Allan Paulo Lim Blaquera, Kyoko Oosaka, Tetsuya Tanioka (2023): Systematic Review on Healthcare Services in the Post-COVID-19 Era. 6TH SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Philippines.
4. Yoshiyuki Takashima, Allan Paulo Lim Blaquera, Yoko Nakano, Tomoya Yokotani, Hirokazu Ito, Yuko Yasuhara, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka (2023): Clarification of Items Within the Technological Competency as Caring in Nursing Instrument Revised (Perception Dimension) Among Psychiatric Nurses. 6TH SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Philippines.
5. Kyoko Osaka, Yoko Nakano, Yoshiyuki Takashima, Allan Paulo Lim Blaquera, Yuko Yasuhara, Tetsuya Tanioka, Mutsuko Kataoka, Rozzano Locsin, Savina Schoenhofer, Elizabeth Baua (2023): Development of In-Service Education on Psychiatric Nursing

Practice Using Technological Competency as Caring in Nursing (TCCN) Theory Among Nurse Managers. 6TH SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Philippines.

ーその他ー

1. 笹岡晴香, 味村俊樹 (2024) : 特集 2 高齢者・認知症者の排便ケア. 高齢者の便秘の Assessment と看護援助. 臨床老年看護. 31 (1). 24-32. 日総研出版. 名古屋市.

臨床看護学講座

成人看護学領域

〔教員名〕 教授　：山脇京子
准教授：佐藤美樹
講師　：竹村多加
講師　：下元理恵

【教育活動】

成人看護学では、成人期の発達課題・健康障害など成人期の特徴を理解すると共に、看護展開に必要な看護理論の理解や、根拠に基づいた看護の実際と臨床看護技術の習得を目指し教授した。

学部教育では、教養科目の「生命倫理学」，「学問基礎論」，「課題探求実践セミナー」，「健康」，専門教育として「成人看護学概論」，「成人看護援助論」，「がん看護学とターミナルケア」，「医療安全Ⅱ」及び「成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ」，コース選択である看護師実践能力育成科目の「クリティカルケア看護概論」，「クリティカルケア看護実習」に関わった。また，卒業研究指導では，研究計画から実施，中間発表会，論文作成までの一連のプロセスを通して指導を行った。

大学院教育では，「生涯生活支援学特論」，「生涯生活支援学演習」，「看護理論」，「看護倫理」を教授すると共に，論文指導も行った。

【研究活動】

○山脇京子

慢性疾患患者の QOL. 看護教育に関する研究に取り組んだ。

○佐藤美樹

地域で暮らす高齢者の健康，睡眠，QOL に関する研究に取り組んだ。

○竹村多加

成人看護学実習の看護教育に関する研究に取り組んだ。

○下元理恵

慢性心不全に関する研究，看護教育に関する研究に取り組んだ。

【社会活動】

○山脇京子

－講義－

- ・ 高知県看護協会主催，保健師助産師看護師等実習指導者講習会「実習指導の原理」（2023 年 9 月 15 日）
- ・ 8 高知県立高知東高等学校 看護の統合と実践Ⅲ（看護研究）（2023 年 9 月 8 日，9 月 22 日，10 月 6 日，10 月 27 日，11 月 17 日，12 月 1 日，12 月 8 日）

－社会活動－

- ・ 高知県看護協会主催，看護師基礎教育を考える会 シンポジスト（2023 年 12 月 9 日）
- ・ 高知看護教育研究会 会長
- ・ 高知大学看護学会誌 査読委員
- ・ インターナショナル Nursing Care Research 評議委員，査読委員
- ・ 高知大学看護学同窓会 幹事
- ・ 保健師助産師看護師実習指導者講習検討会委員（2023 年 6 月 30 日，10 月 20 日，2024 年 3 月 14 日）

○佐藤美樹

－講義－

- ・ 高知県看護協会主催，保健師助産師看護師等実習指導者講習会「実習指導の原理」（2023 年 9 月 19 日）「実習指導案作成・成人看護学」（2023 年 10 月 3 日）
- ・ 高知県立高知東高等学校 看護の統合と実践Ⅲ（看護研究）（2023 年 9 月 28 日，10 月 12 日，10 月 19 日）

－社会活動－

- ・ JANPU 災害支援委員会四国ブロック 委員
- ・ インターナショナル Nursing Care Research 評議委員，査読委員（2024 年 1 月～）
- ・ 高知大学看護学会誌 査読委員
- ・ KMS Research Meeting 審査員

○下元理恵

－講義－

- ・ 高知県看護協会主催，保健師助産師看護師等実習指導者講習会「看護教育課程」（2023 年 9 月 19 日，10 月 2 日，10 月 3 日，10 月 5 日）

－社会活動－

- ・ 日本循環器協会心不全療養指導士症例報告書作成指導

○竹村多加

－講義－

- ・ 清和准看護学院「母性看護，女性生殖器疾患の看護」（2024 年 1 月 6 日，1 月 13 日，1 月 20 日，1 月 27 日，2 月 3 日）

－社会活動－

- ・ 高知県看護教育研究会 連絡係/役員（書記等）
- ・ 高知県看護協会看護研究倫理審委員会 委員
- ・ 安田町健康ふれあいまつり学生ボランティア協力/広報「やすだ」の執筆協力

【研究業績】

－論文－

1. 柴田優里絵，齋藤美和，山脇京子（2023）：養護教諭が抱く職務困難感の構成因子．日

本看護科学学会誌. 43 巻. 909-918.

2. 下元理恵, 山脇京子, 大坂京子 (2023): COVID-19 禍の新しい看護教育の様式-卒業生への調査から-. 高知大学教育研究論集. 28 巻. 9-21.
3. Sato Miki, Tanioka Ryuichi, Betriana Feni, Kyoko Osaka, Zhao Yueren, Tetsuya Tanioka, Takahashi Akira (2023): Characteristics of Sleep and Autonomic Activity in Active Older Adults Based on Metabolic Age: A Comparative Case Study. Open Journal of Psychiatry. 13(4). 229-245.

ー学会発表ー

1. 柴田優里絵, 齋藤美和, 山脇京子 (2023): 特別支援学校に在籍する医療的ケア児への支援における養護教諭と看護師の連携の実態と困難要因. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口.
2. 竹村多加, 佐藤美樹, 松本智津 (2023): Z 世代の新人看護師が抱く感情に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口.
3. Yuki Shimotake, Etongola Papy Steve Mbelambela, Sifa Marie Joelle Muchanga, Antonio F. Villanueva, Marlinang Diarta Siburian, Rie Shimomoto, Kazuyo Ikeuchi, Yoko Matsunaga, Marina Minami, Tatsuo Iiyama, Narufumi Suganuma (2023): Online survey to assess factors associated with the fear of COVID-19 in a sample of Japanese nursing students. 10th Edition-World Congress on Nursing Education & Practice. Germany (Zoom). July 17-18.

臨床看護学領域

〔教員名〕 教授：溝渕俊二

兼 高知大学医学部 共同研究講座「高知馬路村ゆず健康講座」

〔教員名〕 特任教授：溝渕俊二 特任准教授：渡部嘉哉 特任助教：浅野公人，宮本美緒
特任研究員：北添範子，松浦 梓

【教育活動】

1. 臨床看護学では，専門基礎科目である1年生の「身体の働き」，2年生の「薬の効用と看護」，「看護と病態」，「感染と免疫」，そして3年生の「病態と治療」などの共通専門科目を担当している．1年生には，「解剖実習」と「手術見学と集中治療室の見学」を行った．
「看護学特別研究」（通年），「看護研究の基礎」の1コマを担当した．一昨年度から，宮本特任助教が，栄養に関して講義を行っている．今年度から1年生「栄養学」の「食品と食事」，「栄養素のはたらき 1. 三大栄養素，2. 微量栄養素と食物繊維」を担当した．
2. 卒業研究において2グループを受け持ち，実験研究を行った．
1 グループ 研究テーマ：ユズ果皮加工食品の継続摂取による冷え性の改善効果
16 グループ 研究テーマ：ユズ果皮を用いた足浴によるリラクセーション効果 -照度による影響-
3. 看護学専攻修士課程では，「看護研究論」で2コマ，「健康環境論」で4コマ，実践助産学課程では，「母子の健康科学特論」で1コマ担当した．
4. 黒潮圏専攻では，生活環境健康安全科学特論を開講し講義を行った．

【研究活動】

1. 『ユズ種子粉』に関する研究を，高知工科大学，馬路村農業協同組合，高知大学の3者が共同研究契約を2021年12月1日に締結し開始した．馬路村農業協同組合から提供されたユズ種子粉から，高知工科大学がヘキサソ法で抽出した残油（以下/ユズ種子粉油）の安全性が確認されたことから，そのユズ種子粉油の機能性を確認した．その結果/種子圧搾油である非加熱ユズ種子油と同等の機能性があることが明らかとなった．
2. 動物実験計画書を提出し，承認を受け実験を行った．
 - ・ 2023年7月6日（2023年5月23日付け）承認番号：第 Q-00036
 - ・ 2023年7月26日（2023年 5 月 23 日付け）承認番号：第 Q-00038
 - ・ 2023年7月26日（2023年 5 月 23 日付け）承認番号：第 Q-00039

【社会活動】

－産学共同研究－

1. 馬路村農業協同組合と研究題目「ユズ成分の機能性に関する共同研究」にて共同研究契約を締結し共同研究を行っている（2021年4月1日～2024年3月31日）．
2. 馬路村農業協同組合と高知工科大学の3者で研究題目「『ユズ種子粉』が含有する機能性物質の探索」にて共同研究契約を締結し共同研究を行っている（2021年12月1日～2024年3月31日）．

ー広報ー

1. 高知大学医学部 RESERCH シーズ集「ユズ成分の機能性探索と作用機序の解明」
<http://www.kochi-u.ac.jp/kms/seeds/detail.html?id=724>
2. 高知大学 SDGsAction (2023) 取組症例テーマ: 健康に貢献する「ユズ種子油」の効果」
URL: http://www.kochi-u.ac.jp/SDGs/activities/report_31.html
3. 高知大学医学部 高知馬路村ゆず健康講座 業績集 を発行した.

【研究業績】

ー学会発表ー

1. 宮本美緒, 渡部嘉哉, 浅野公人, 溝渕俊二 (2023): マウスに対する非加熱ユズ種子油経口投与による血糖値改善効果. 第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会. 兵庫.
2. 宮本美緒, 浅野公人, 渡部嘉哉, 松浦 梓, 北添範子, 北岡雄一, 溝渕俊二 (2023): ユズ種子搾油後の『ユズ種子粉』の安全性確認と LDL コレステロール低下効果. 第15回日本臨床栄養代謝学会中国四国支部学術集会. WEB.

小児看護学領域

〔教員名〕 准教授：松本智津

【教育活動】

小児看護学では、常に“子どもと家族が主体である”ことを基盤の考えとしてもち、医療専門職としてのあり方や姿勢、知識や技術を養い、ケアや関わりの実践につなげることを目標としている。

学部教育では、2年生前期「小児看護学概論」、3年生前期「小児看護援助論」を担当した。子どもと家族に関する基本知識をもとに、健康問題をもつことが子どもと家族にとってどのような体験になるのかを考え、必要となるケアや関わりを考えることができるように授業を展開した。また、2023年度より開講された2年生「健やか親子実習」では、既習の子どもの成長発達を実際に地域で暮らす子どもと関わることで子どもを体感し、より深く理解することができるよう環境を整えた。また、実習を通して「健やかに子どもが育つ」ための「親と子」が考察できるように、実習前の助産師および新生児集中ケア認定看護師からの「愛着」や「親子の形成」についての講義や実習後のまとめの中で教育を行った。3年生の臨地実習では、病棟実習・小児科外来実習を通して、健康問題をもつ子どもと家族のケアや関わりについて、既修の知識と体験を統合し、小児看護として、現象が説明できるような教育を行った。

大学院教育では、実践助産学領域の教育に携わり、子どもの視点から見て、そして母子・親子を考える思考過程を導き、それぞれの視点から考えることによって実践能力の向上にむけた教育を行った。

【研究活動】

○松本智津

若手研究「NICUにおけるフィジカルアセスメント教育の開発とその検証」の第1ステップに取り組んだ。

【社会活動】

○松本智津

- ・ 高知大学看護学会 査読委員
- ・ 高知県看護協会東部2地区支部 委員
- ・ 高知県准看護師試験 委員
- ・ 高知大学医学部附属病院ファミリーサポート委員会 委員
- ・ ボランティア活動
 1. 小鳩会総会での託児：学生2名とともに参加
その他小鳩会の活動（BBQ、みかん狩り、クリスマス会）のコーディネート
 2. 山田特別支援学校小学生修学旅行に学生1名、山田特別支援学校田野分校高等学校修学旅行に学生3名がボランティアとして参加（学校との調整、および学生へのオリエンテーション等を実施）
 3. 「プラダーウィリー症候群の家族キャンプのお手伝い」のコーディネートや事前のオリ

エンターションの開催など

【研究業績】

ー学会発表ー

1. 竹村多加, 佐藤美樹, 松本智津 (2023) : Z 世代の新人看護師が抱く感情に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口.

ーその他ー

1. 礪元日菜, 西村輝美, 福武一樹, 和田望羽, 松本智津 (2023) : 入院している子どもに付き添う家族の基本的欲求に対する看護ケアの現状. 第 23 回 KMS Research Meeting.

母性看護学領域

〔教員名〕 講師：吉村澄佳

【教育活動】

母性看護学では、女性とその子ども及び家族の健康・発達を支援するための対象理解と看護実践能力を養うことを目指し教授した。専門教育としては、「家族看護学」「母性看護学概論」、「母性看護援助論」、「母性看護学実習」、「卒業研究」に関わった。本年度は実習で対象者と関わりが持てたものの、これまでの臨地実習経験が少ないことから、対話による情報収集や対象理解、アセスメントの学生支援に努めた。また、探索的な思考を持てるよう、実習と並行して学生は文献検索を行いながら、疑問の解決、対象理解、看護支援の視点を豊かにできるよう学生の指導に努めた。実習と自己学習を通して学生は看護について深く考えることができており、豊かな学びにつながったと考える。

【研究活動】

- ・ 看護技術のデータ化による技術習得について研究を行った。

【社会活動】

－講義－

- ・ 国立病院機構高知病院附属看護学校「母性看護方法論・演習」（2023年6月26日・30日、7月3日・5日・7日・10日）

－社会活動－

- ・ 中芸広域連合保健福祉課母児事例検討会アドバイザー（2023年5月31日、6月21日、7月26日、8月23日、9月27日、2024年1月17日、2月28日、3月14日）
- ・ 高知県性教育推進協議会 委員

【研究業績】

－論文－

1. 吉村澄佳，森雄一郎，豊永昌彦（2023）：会陰保護手技習得のための簡易自動児頭モデル娩出装置の開発．第64回日本母性衛生学会．大阪．
2. 吉村澄佳，森雄一郎（2023）：会陰保護手技習得のための簡易自動児頭モデル娩出装置を用いた児頭娩出速度の検証．第43回日本看護科学学会学術集会．山口．

助産学領域

〔教員名〕 教授：石岡洋子

准教授：濱田佳代子

【教育活動】

学部学生に対して初年次科目の「大学基礎論」，「学問基礎論」，教養科目の「生命倫理学」，専門科目「卒業研究」を担当した．大学院母子看護学分野において，リプロダクティブ・ヘルス及びウイメンズヘルスに対するケア能力を習得し，すべてのライフステージにある女性を取り巻く文化・社会的な背景から次世代育成の課題を探索し，問題解決策を提案し得る人材の育成を目指し，PBL型授業を行った．

実践助産学課程では，新型コロナウイルス感染症への感染予防を行いながら学内演習や助産学実習を行った．実習科目の「助産学実習Ⅰ」，「助産学実習Ⅱ」，「地域助産学実習」は実習病院の方針に基づいた感染症対策を行いながら，実施計画（安全対策を含む）を作成し，適切な手続きのもとに実施した．その結果，指定規則の分娩取り扱い基準を満たすことができた．

研究指導は，研究指導計画書を作成し実施した．修了生に対して修士論文の学会発表や学会誌投稿への支援を行った．

【研究活動】

○石岡洋子

非妊時 BMI と周産期予後の検討に関する研究を実施した．

○濱田佳代子

妊産褥婦の QOL アセスメントツール開発に関する研究に取り組んだ．

【社会活動】

○石岡洋子

－講義－

岡山大学大学院保健学研究科助産師リカレント教育「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 21 妊婦の体重管理について（2023 年 9 月 16 日）

－社会活動－

中芸広域連合保健福祉課母子事例検討会 アドバイザー

宿毛市市役所 令和 5 年度高知大学医学部准教授講師会講師派遣事業（2023 年 10 月 23 日）

○濱田佳代子

－社会活動－

中芸広域連合保健福祉課母子事例検討会 アドバイザー

【研究業績】

－論文－

1. 坂本桃菜，濱田佳代子，石岡洋子（2023）：成熟期にある女性看護職の体格とライフス

タイルの関連. 高知大学看護学会誌. 17 (1). 15-23.

—学会発表—

1. 全国助産師協議会令和 3・4 年度教育検討委員会, 礪山あけみ, 五十嵐稔子, 加藤江里子, 関屋伸子, 濱田佳代子, 蛸崎奈津子 (2023): 2 年間教育で実施する望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム 2020 年版カリキュラムモデルの策定. 第 37 回日本助産学会学術集会. 東京.

精神看護学領域

〔教員名〕 教授：大坂京子

講師：高橋美美

【教育活動】

精神看護学ではあらゆる発達段階および健康水準の個人と集団を対象に、心（精神）の健康を理解し、その維持・増進への看護が展開できる能力の育成を目標としている。精神保健学を基盤に人間関係，社会動向，精神疾患の基礎的知識と技術について教授している。

学部教育では，1年次「コミュニケーション論」にて，看護の基盤となる対象理解や自己理解を中心としたコミュニケーション技術の履修を目指し，段階的に取り組めるように演習課題を組み入れている。2年次「精神看護学概論」では，精神の健康と障害および精神保健看護の担う役割と課題，精神保健医療福祉の歴史や制度の変遷，人権擁護について教授した。3年次の「精神看護援助論」，「精神看護学実習」では，実習病棟との連携を図りながら精神科看護を主眼に，リカバリーやストレングスの視点を含めた多様な側面から捉える患者理解の実践，退院後の地域生活を見据えたアセスメントや看護計画立案について学習できるように展開した。

【研究活動】

○大坂京子

精神科における現代看護におけるケアリングとしての技術力ー実践のためのモデルーを用いた現任教育プログラムの開発を行い，介入を行った。

○高橋美美

看護学生ならびに看護師における援助要請行動に関する先行文献を整理し，対人援助職としての特徴を捉え直す研究準備を行なった。

【社会活動】

○大坂京子

ー学術活動・社会貢献ー

- ・ Advisory Broad Member, The Rozzano Locsin Institute (RLI) for the advancement of Technological Competency as Caring in Nursing and Health Sciences
- ・ 5th Technological Competency as Caring in Nursing in The Health Sciences 2023, Organizing Committee
- ・ Peer reviewer for MDPI (Multidisciplinary Digital Publishing Institute)
- ・ 日本精神科看護協会高知県支部 研究発表会 査読委員・講評
- ・ St. Louis University faculty to assist them in the 5th Quali conference, moderator
- ・ Sigma Global Nursing Excellence, Psi Beta Chapter, Research Day, Plenary Speaker, Advancing Nurses and Nursing through MIRTH: Theory-based Research and Practice

○高橋美美

ー社会活動ー

- ・ 日本精神科看護協会高知県支部 査読委員
- ・ 国家資格登録 キャリアコンサルタント

【研究業績】

ー著書ー

1. Tetsuya Tanioka, Locsin C Rozzano, Yuko Yasuhara, Kyoko Osaka, Hirokazu Ito: Nursing Robots and Robotics in Nursing: Robotic Technology and Human Caring. Independently published. Jul. 2023.

ー論文ー

1. Yoko Nakano, Tomoya Yokotani, Yoshiyuki Takashima, Feni Betriana, Kyoko Osaka, Mutsuko Kataoka, Tetsuya Tanioka, Rozzano C Locsin (2023): Nurse Managers Perception and Practice on the Theory of Technological Competency as Caring in Nursing: A Preliminary Study. Jurnal Keperawatan Soedirman. 18(2). 91-100. Doi: 10.20884/1.jks.2023.18.2.8357.
2. Miki Sato, Ryuichi Tanioka, Feni Betriana, Kyoko Osaka, Yueren Zhao, Tetsuya Tanioka, Akira Takahashi (2023): Characteristics of Sleep and Autonomic Activity in Active Older Adults Based on Metabolic Age: A Comparative Case Study. Open Journal of Psychiatry. 13(4). 229-245. Doi: 10.4236/ojpsych.2023.134019.
3. Toshiya Akiyama, Kyoko Osaka, Hirokazu Ito, Ryuichi Tanioka, Allan Paulo Blaquera, Leah Christine Anne Bollos, Tetsuya Tanioka (2023): Analysis of Emotions Using Multimodal Data: A Case Study. Journal of Biosciences and Medicines. 11(12). 54-68.
4. 豊嶋美紗, 廣田多門, 三浦幸子, 片岡睦子, 大坂京子, 谷岡哲也 (2024) : 認知症高齢者に対するユマニチュードの有効性 : 日本語文献によるシステマティック・レビュー. 四国医学雑誌. 79 (5,6). 221-228.
5. 下元理恵, 山脇京子, 大坂京子 (2024) : COVID-19 禍の新しい看護教育の様式-卒業生への調査から-. 高知大学教育研究論集. 28 巻. 9-21.

ー学会発表ー

1. 山岸由佳, 中村夏子, 南まりな, 大坂京子, 前田長正 (2024) : HPV ワクチン接種に関するキャッチアップ世代に関する意識調査. 高知大学医学部第 23 回 KMS Research Meeting.
2. Akiyama Toshiya, Kyoko Osaka, Hirokazu Ito, Tanioka Ryuichi, Blaquera Paulo Allan, Tetsuya Tanioka (2023): Pilot Study on the Analysis of Emotions in Healthy Subject Using Multimodal Data. 6th SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Tuguegarao City. Philippines.
3. Ryuichi Tanioka, Yoshihiro Kai, Kazuyuki Matsumoto, Kensaku Takase, Kyoko

- Osaka, Tetsuya Tanioka (2023): Upper Limb Motor Velocity Compared Between Patient with Schizophrenia and Healthy Subject: A Case Study. 6th SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Tuguegarao City. Philippines.
4. Takashima Yoshiyuki, Blaquera Paulo Allan, Nakano Yoko, Yokotani Tomoya, Hirokazu Ito, Yuko Yasuhara, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka (2023): Clarification of Items Within the Technological Competency as Caring in Nursing Instrument Revised (Perception Dimension) Among Psychiatric Nurses. 6th SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Tuguegarao City. Philippines.
 5. Kyoko Osaka, Nakano Youko, Takashima Yoshiyuki, Blaquera Paulo L. Allan, Yuko Yasuhara, Tetsuya Tanioka, Kataoka Mutsuko, Locsin Rozzano, Schoenhofer Savina and Baua Elizabeth (2023): Development of In-Service Education on Psychiatric Nursing Practice Using Technological Competency as Caring in Nursing (TCCN) Theory Among Nurse Managers. 6th SPUP International Interdisciplinary Research Conference. Tuguegarao City. Philippines.
 6. Nakano Yoko, Yokotani Tomoya, Yoshii Hidemi, Betriana Feni, Blaquera Paulo Allan, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka (2023): Systematic Review on Healthcare Services in the Post-COVID-19 Era. 6th SPUP International Interdisciplinary Research conference. Tuguegarao City. Philippines.
 7. Tetsuya Tanioka, Rozzano De Castro Locsin, Betriana Feni, Kai Yoshihiro, Kyoko Osaka, Baua Elizabeth, Schoenhofer Savina (2023): Intentional Observational Clinical Research Design: Innovative Design for Complex Clinical Research Using Advanced Technology. 1st International Conference of Fort De Kock University (1st ICOF). WEB.

—Workshop—

1. Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka (2023): Intentional Observational Clinical Research Design (IOCRD): Innovative Design for Complex Clinical Research Using Advanced Technology as Mixed Methods Design Interest Area. 5th International Conference on Qualitative Research in Nursing, Health, and Social Science?

地域看護学講座

高齢者看護学領域

〔教員名〕 准教授：寺下憲一郎

助教：西井幸香

【教育活動】

高齢者看護学では、高齢化する社会のケアニーズに対応し、高齢者とその家族の QOL 向上に資する学生を育成するために「高齢者看護学概論」、「高齢者看護学援助論」、「高齢者看護学実習」に加えて、新カリキュラムである「高齢者看護学実習Ⅰ」を学部教育として担当した。過疎高齢化が進む地域を志向した高度な看護実践応力を身に着けることを目指し、地域包括ケアを学ぶことを目的とした看護師実践能力育成科目の「地域生活者支援概論」、「地域生活者支援実習」も担当した。その他、学部教育として「統合分野実習」の実習指導を担当、「学問基礎論」、「健康 B」、「地域看護学」、「医療安全論Ⅱ」の講義と指導の一部を担当した。大学院では「看護研究論」、「地域健康支援学特論」、「地域健康支援学演習」講義の一部を担当した。

【研究活動】

○寺下憲一郎

学生の問題解決に関する研究

地域住民である高齢者の生きがいに関する研究

○西井幸香

RI 病棟に従事する看護師の被ばくに対する知識の自己評価と不安に関する研究

【社会活動】

○寺下憲一郎

－講義－

- ・ 准教授講師会講師派遣事業、高知県高岡郡日高村役場健康福祉課主催 村民研修会「認知症について」（2023 年 11 月 21 日）

－社会活動－

- ・ 高知大学医学部准教授講師会 会計（2023 年 4 月～）
- ・ KMS Research Meeting 審査員
- ・ 高知大学医学部看護学科令和 5 年度 FD 研修 主催
- ・ 広報やすだ 8 月号寄稿
- ・ 訪問看護ステーションなかやま楽校 訪問看護技術指導（2023 年 4 月～2024 年 3 月）
- ・ 介護施設ボランティア体験 学生引率及び指導（2024 年 2 月～2024 年 3 月）

－その他－

- ・ NPO 法人なかやま楽校 代表理事（2019 年 12 月～2023 年 6 月）
- ・ NPO 法人なかやま楽校 副理事（2023 年 6 月～）

○西井幸香

－講義－

- ・ 准教授講師会講師派遣事業，高知県黒潮町健康福祉課保健衛生係主催 黒潮町健康づくり推進委員研修会「フレイルについて知ろう」（2023 年 9 月 26 日）

－社会活動－

- ・ 広報やすだ 10 月号寄稿

【研究業績】

- ・ 寺下憲一郎（2023）：高知県東部における高齢化の現実と挑戦．厚生福祉．第 6813 号．9.

在宅看護学領域

〔教員名〕 講師：川村尚美

助教：柴田優里絵

【教育活動】

在宅看護学領域では、地域で健康問題をもちながら生活する人々とその家族を統合的に理解し、QOLを維持、向上させる自立・自律にむけた生活支援ができるよう在宅看護を展開するための知識と技術の取得を目指す。学部教育として2年後期で「在宅看護概論」、3年前期で「在宅看護援助論」、3年後期「在宅看護学実習Ⅰ」を担当した。3年後期「在宅看護学実習Ⅰ」の臨地実習においては、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所で学び、個別ケアから家族の看護及び地域包括ケアが必要である現状を捉えることができる学習支援方法とした。4年前期には「統合看護実習/在宅看護学実習Ⅱ」を担当し指導を行った。在宅看護学実習Ⅱでは入退院支援センター・地域医療連携室で多職種協働の重要性や地域連携の実践について学んだ。

【研究活動】

○柴田優里絵

養護教諭が抱く職務上困難感に関する研究

学校に在籍する医療的ケア児への支援に関する研究

【社会活動】

○川村尚美

- ・ 講演 高齢者の心の健康 土佐清水市
- ・ 研修会助言者 退院支援体制強化研修会 高知県中央西福祉保健所
- ・ 研修会助言者 認知症研修会 高知県中央西福祉保健所
- ・ 認知症すごろくプロジェクトアドバイザー 高知県中央西福祉保健所

○柴田優里絵

- ・ 高知大学看護学同窓会：交流会担当
- ・ 高知大学創立 75 周年記念事業委員会 委員

【研究業績】

－論文－

1. 柴田優里絵，齋藤美和，山脇京子（2023）：養護教諭が抱く職務上困難感の構成因子．日本看護科学学会誌．43 巻．909-918．

－学会発表－

1. 柴田優里絵，齋藤美和，山脇京子（2023）：特別支援学校に在籍する医療的ケア児への支援における養護教諭と看護師の連携の実態と困難要因．第 43 回日本看護科学学会学術集会．山口．

公衆衛生看護学領域

〔教員名〕 教授　：奥谷文乃

准教授：杉本加代

講師　：齋藤美和

【教育活動】

公衆衛生活動の活動分野は主として地域・産業・学校であり，それぞれ多職種との協働により保健活動は推進される．保健師資格取得希望者のみならず看護師として最低限身につけておくべき公衆衛生看護学に関連する知識・技術を各学年に応じて教授した．学生は，保健師資格取得希望の有無を2年年度末に決定し，4年生で公衆衛生看護学実習を行う．

令和5年度の2年生のうち保健師育成コースを希望した学生数は25名であり，定員30名未満のため保健師育成コース選抜試験は実施しなかった．

令和5年度の実習履修者数は22名であり，実習場所は行政（市町村・保健所）や企業・学校での実習を行った．行政のうち市町村での実習場所数は15ヶ所で，遠方の市町村で実習を行う学生は宿泊しながら実習をした．実習中の学生の不安軽減や疑問解消のために，担当教員がオンラインによるカンファレンスを行った．

【研究活動】

○奥谷文乃

嗅覚障害の新規の治療法

高齢者における嗅覚機能と認知機能の関連

○杉本加代

大腸がん検診受診

○齋藤美和

養護教諭に関する研究

【社会活動】

○奥谷文乃

－講義－

- ・ 高知県立大学社会福祉学部「医学概論」（2023年10月3日，10月10日，10月17日，10月24日，10月31日，11月7日，11月14日，11月21日，11月28日，12月5日，2024年1月9日，1月16日，1月23日，1月30日，2月6日）
- ・ 高知リハビリテーション専門職大学「生理学」（2023年4月6日，4月13日，4月20日，4月27日，5月11日，5月23日，5月25日，6月1日，6月8日，6月15日，6月22日，6月29日，7月6日，7月13日，7月20日）
- ・ 高知リハビリテーション専門職大学「耳鼻咽喉科学」（2023年4月6日，4月13日，4月20日，4月27日，5月11日，5月16日，5月25日，6月1日，6月8日，6月15日，6月22日，6月29日，7月6日，7月13日，7月20日）

- ・ 高知リハビリテーション専門職大学「聴覚医学概論」 (2023 年 9 月 25 日, 10 月 2 日, 10 月 16 日, 10 月 23 日)
- ・ 高知リハビリテーション専門職大学「呼吸発声発語系医学」 (2023 年 10 月 30 日, 11 月 6 日, 11 月 13 日, 11 月 20 日)
- ・ 龍馬看護ふくし専門学校看護学科「臨床医学」 (2023 年 8 月 24 日, 8 月 25 日, 8 月 31 日, 9 月 1 日, 9 月 7 日, 9 月 8 日, 9 月 21 日)
- ・ 高知県立東高校看護専攻科「耳鼻咽喉科疾患の看護」 (2023 年 11 月 27 日, 12 月 4 日, 12 月 11 日, 12 月 18 日)

ー社会活動ー

- ・ 高知県地域・職域連携検討専門部会 部会長

○杉本加代

ー講義ー

- ・ 高知県立高知東高等学校看護専攻科「公衆衛生学」 (2023 年 10 月 16 日, 10 月 23 日, 11 月 6 日, 11 月 13 日)
- ・ 高知県立高知東高等学校看護専攻科「コミュニケーション論」 (2023 年 8 月 28 日, 9 月 1 日, 9 月 4 日, 9 月 8 日, 9 月 11 日, 9 月 15 日, 9 月 22 日, 9 月 25 日, 9 月 29 日, 10 月 2 日)
- ・ 独立行政法人国立病院機構高知病院附属看護学校「公衆衛生学」 (2023 年 8 月 31 日, 9 月 5 日, 9 月 12 日)

ー社会活動ー

- ・ 高知県嶺北広域行政事務組合要介護認定審査会 委員
- ・ 高知県嶺北広域行政事務組合障害程度区分認定審査会 委員
- ・ 2023 年度須崎福祉保健所管内保健福祉活動報告会準備研修会 (2024 年 2 月 7 日)
- ・ 2023 年度須崎福祉保健所管内保健福祉活動報告会 (2024 年 3 月 13 日)
- ・ 2023 年度中央西福祉保健所市町村保健福祉関係職員研修会に向けた準備研修会 (2023 年 12 月 7 日)
- ・ 2023 年度中央西福祉保健所市町村保健福祉関係職員研修会 (2024 年 3 月 1 日)

○齋藤美和

ー講義ー

- ・ 高知県立高知東高等学校専攻科「公衆衛生学」 (2023 年 9 月 4 日, 9 月 11 日, 9 月 25 日, 9 月 29 日, 10 月 20 日, 10 月 30 日)
- ・ 独立行政法人国立病院機構高知病院附属看護学校「公衆衛生学」 (2023 年 7 月 13 日, 9 月 1 日, 9 月 15 日, 9 月 19 日)

ー社会活動ー

- ・ 高知県保健師人材育成評価検討会 (2023 年 7 月 6 日, 2024 年 3 月 14 日)
- ・ 高知県新任期保健師研修会 (1~4 年目対象) (2023 年 8 月 1 日, 11 月 2 日, 12 月 15 日, 12 月 19 日, 2024 年 2 月 9 日)
- ・ 高知市建築審査会 (2024 年 3 月 26 日)

【研究業績】

－論文－

1. 奥谷文乃 (2024) : 「第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会シンポジウム」; 嗅覚刺激療法および嗅覚診療の今後. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会. 127 (2). 71-76.
2. Kobayashi M, Miwa T, Mori E, Shiga H, Tsuzuki K, Okutani F, Hayama M, Akazawa H, Nakamura Y, Suzuki M, Matsuwaki Y, Ogino E, Shikina T, Ikeda K, Hyo Y, Kashiwagi T, Kondo K, Shibata M, Ueno T (2024): Efficacy of tokishakuyakusan and mecobalamin on post-infectious olfactory dysfunction: A prospective multicenter study. *Auris Nasus Larynx*. 51(1). 99-105.
3. 杉本加代 (2024) : A 大学における看護学生のスマホ依存とコミュニケーションスキルとの関連. 四国公衆衛生学会雑誌. 69(1). 157-162.
4. 柴田優里絵, 齋藤美和, 山脇京子 (2023) : 養護教諭が抱く職務上困難感の構成因子. 日本看護科学学会誌. 43. 909-918.

－学会発表－

1. 奥谷文乃 (2023) : シンポジウム 1「耳鼻咽喉科頭頸部外科診療の新機軸—リハビリテーション—」; T&T オルファクトメトリーで評価した嗅覚刺激療法. 第 124 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会. 福岡.
2. 小佐井創, 奥谷文乃 (2023) : 当科における COVID-19 後遺症の嗅覚障害の症例経験. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会第 48 回中国四国地方部会連合学会. 高知.
3. 奥谷文乃, 小佐井創, 伊藤広明, 兵頭政光 (2023) : 嗅覚刺激療法が無効な嗅覚障害症例について. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会. 三重.
4. 小佐井創, 奥谷文乃, 兵頭政光 (2023) : 当科における COVID-19 後遺症の嗅覚障害・異嗅症の症例経験. 第 62 回日本鼻科学会総会・学術講演会. 三重.
5. 杉本加代 (2023) : 4年制大学の看護学生におけるスマートフォン利用状況. 第18回高知大学看護学会. 高知.
6. 柴田優里絵, 齋藤美和, 山脇京子 (2023) : 特別支援学校に在籍する医療的ケア児への支援における養護教諭と看護師の連携の実態と困難要因. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 山口.

－その他－

1. 奥谷文乃 : 嗅覚—基礎から臨床まで—. おいしさセミナー「おいしさの最新基礎知識」. 東京都中央区. 2024.1.10.
2. 奥谷文乃 : 「耳鼻咽喉科疾患の最近の動向」. 産業医学研修会. 高知県高知市. 2024.2.29.
3. 柴田優里絵, 杉本加代 (2024) : 1人暮らしの大学生の防災意識と食料備蓄との関連. 高知大学医学部第23回KMS Research Meeting.

V. 研究助成金取得状況

1. 学内特別研究費

- ① インセンティブ経費
該当なし

② その他の研究助成金

年度 (研究期間)	種類	研究課題	実施責任者	実施担当者
2023 年～ 2024 年 (1 年間)	研究科長裁量経費	実践助産学課程における分娩介助演習の補強	<u>奥谷文乃</u>	<u>石岡洋子</u>
2023 年～ 2024 年 (1 年間)	教育研究活性化事業（研究促進：研究者キャリアアップ支援）	アフターコロナにおけるニューノーマル時代に対応した医療人材育成プログラムの開発	<u>中野葉子</u>	<u>中野葉子</u>

2. 学外研究費

① 科学研究費補助金

年度 (研究期間)	種類	研究課題	研究代表者	研究分担者
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	若手研究	活動的な高齢者の睡眠と自律神経活動の特徴に着目した看護介入モデルの開発	<u>佐藤美樹</u>	
2023 年～ 2025 年 (3 年間)	若手研究	アフターコロナにおけるニューノーマル時代に対応した医療人材育成プログラムの開発	<u>中野葉子</u>	
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	基盤研究 (C)	妊産婦の個別的 QOL アセスメントツールの開発	<u>濱田佳代子</u>	中塚幹也 前田長正 関屋伸子 永井立平
2023 年～ 2025 年 (3 年間)	基盤研究 (C)	辛味感受性の遺伝的背景がもたらす食嗜好・食行動の解明	村田芳博	<u>奥谷文乃</u>
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	基盤研究 (C)	在宅における慢性心不全患者の栄養評価学習プログラムの開発	<u>下元理恵</u>	山中福子 久保 亨

2020 年～ 2024 年 (5 年間)	基 盤 研 究 (C)	心不全重症化予防に向けたア ウトカム評価に基づく患者教 育連携プログラム	山中福子	<u>下元理恵</u>
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	基 盤 研 究 (C)	学士課程から始める急性期人 工呼吸器ケア自立学習支援教 材プログラムの開発と評価	二本柳圭	谷口将志 寺島 修 寺内英真 <u>下元理恵</u> 栞子嘉美 池田恵美子 仲道雅輝
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	基 盤 研 究 (C)	会陰保護の手技習得のための シミュレーション教材の開発	<u>吉村澄佳</u>	森雄一郎 豊永昌彦
2021 年～ 2024 年 (4 年間)	基 盤 研 究 (C)	アトピー性皮膚炎患者のバリ ア機能促進支援モデルの開発	山脇京子	溝渕俊二 佐野栄紀 竹村多加 <u>佐藤美樹</u>

② 産学官共同研究助成金

年度 (研究期間)	研究課題	研究代表者	共同研究先/共同研究者
2021 年 12 月～ 2024 年 3 月 (2 年 4 ヶ月)	『ユズ種子粉』が含有する機能 性物質の探索	<u>溝渕俊二</u>	馬路村農業協同組合/北 岡雄一 高知工科大学/松本泰典
2021 年 4 月～ 2024 年 3 月 (3 年間)	ユズ成分の機能性に関する共 同研究	<u>溝渕俊二</u>	馬路村農業協同組合/北 岡雄一
2023 年 6 月～ 2024 年 6 月 (1 年間)	看護領域における医療器具等 の研究	花崎和弘	<u>多田邦子</u> 倉本 秋 阿部晃之 関 和治

③ その他の研究助成金

年度 (研究期間)	種類	研究課題	実施責任者	実施担当者
2023 年度	JICA 草の根技術 協力事業（草の根 支援型）	ラオスにおける顧み られない熱帯病 （NTDs）の1つ寄生 虫感染症のコントロ ール対策に関する保 健教育支援	吾妻 健	<u>笹岡晴香</u> 島田郁子

VI. 看護学科運営に関する委員会・活動報告

1. 委員会構成

1) 改革推進のための戦略的委員会

- ・教育・学習評価委員会
- ・地域協働推進委員会

2) 個別取組の実行委員会

【教育活動】

- ・実習検討委員会
- ・キャリア支援委員会
- ・国試支援委員会
- ・卒業研究支援委員会
- ・入試委員会
- ・OSCE 検討委員会

【研究活動】

- ・高知大学看護学会委員会

【組織活動】

- ・教育・研究 FD 委員会
- ・看護学科看護部連携協議会
- ・入試・広報委員会
- ・国際連携推進委員会（台湾大学）
- ・看護学科災害対策推進委員会
- ・親睦会

2. 委員会活動報告

1) 改革推進のための戦略的委員会

教育・学習評価委員会

〔メンバー〕 高橋美美（委員長）、齋藤美和、藤井千江美

【目的】

学生の卒業時コンピテンシーを評価する看護実践能力と 10+1 の活用を促進し、e - ポートフォリオ全体の教育・学習への活用につなげる。

【活動概要】

1. 「看護実践能力」入力状況としては、2 年生 62 名全員、3 年生 72/73 人、4 年生の 3 年次評価 65 名全員、4 年次評価 64/65 人と休学者を除き、ほぼ全員の入力となった。学生へは、新年度オリエンテーション時に前年度の集計結果を提示しながら評価入力を促した。

2023 年度 4 年生の在学時の集計結果をまとめ、学科会議で報告を行った。

2. 「10+1 パフォーマンス評価」については、4 年生の統合実習後（在来生）55 名、卒業研究後（編入生）10 名、3 年生領域別実習後 62 名において、全員の教員との相互評価が終えられている。
3. 授業評価については実施支援を行いながら、対象科目 52 科目中 41 科目の担当教員から授業評価に関する概要報告があった。アンケート活用状況、各平均評価などを取りまとめ学科会議にて報告を行った。

【今後の課題】

新カリキュラム移行時期にあたり、教育・学習評価資料が得られるように、各種評価システムの入力支援ならびにデータ活用への情報提供を継続する予定である。

授業評価については、領域別実習科目において実施した科目が少なく、困難点を確認しながら支援を行い安定した運用を目指す。

地域協働推進委員会

〔メンバー〕 竹村多加（委員長）、中島利佳、西井幸香

【目的】

看護学科（教員・学生）と県下の関係機関の連携・協働を促進し、下記のミッションに取り組む。

1. 地域協働の推進（安田町交流促進）イベント参加
2. 広報「やすだ」への健康関連記事掲載
3. 学生の自主性を生かした取り組み（ボランティア活動の促進等）

【活動概要】

1. 安田町交流促進

「安田町健康ふれあいまつり～心と体の健康づくり～一緒に運動/一生健康！」へ参加（文化祭と同時開催）

- 1) 開催日：2023 年 11 月 11 日（土）9:00～15:00
 - 2) 開催場所：安田町保健センター・文化センター
 - 3) 参加者：学部学生 11 名（2 年生）
 - 4) 活動内容：受付，食生活改善推進協議会（軽食配布），ほたるカフェ/バザー，健康測定等
 - 5) 今後の課題：学生全員が最後まで会場運営に協力でき，イベントをよりにぎやかなものにしてくれたと感謝の言葉をいただいた．安田町からの今後の学生参加については，学生の知識や経験を活かした看護や医療内容の発表ブースを設ける，臨地実習での安田町のフィールドワークの成果を発表する等の要望があった．
2. 安田町の広報誌に健康関連記事の連載を行った．9 月から翌年 3 月まで，7 人の教員と 2 名の学生が対応した．
 3. 今年度はイベント日に高知大学看護学会が同時に開催されたため，教員の参加は不可能であり学生のみが参加した．参加可能な学年は 1・2 年生と 4 年生（3 年生は実習中で不可能）であったが，2 年生のみの参加となった．

【今後の課題】

安田町交流促進については，学生のボランティア活動を中心に住民からの評価も高いため，今後も継続していく．今後のイベント企画内容に対しては，安田町からの要望を取り入れるよう早期から入念な打ち合わせを行い，安田町住民の健康ニーズに対応する．また，早期からボランティア活動に対する学生への動機づけをしていく．

2) 個別取組の実行委員会

【教育活動】

実習検討委員会

〔メンバー〕松本智津（委員長），笹岡晴香，寺下憲一郎，下元理恵，高橋美美，吉村澄佳，柴田優里絵

【目的】

1～4 年次までの看護学実習が効果的に展開できるように，臨地実習の共通基盤となる事柄に関して企画・運営する．また，学生の実習効果が得られるよう，実習機関である医療福祉教育機関などと連携を取り，よりよい学習環境の実現に向けて調整を行う．

【活動概要】

実習検討会の役割遂行に向け，年度初めから活動できるように役割を早期に決定し，「実習の手引き」，「領域実習オリエンテーション企画・実習配置表の調整」，「事故・感染対策対応」，「統合実習関連」，「スチューデント・ナース（以下 SN）認定証授与式」，「実習連絡会」について，役割を確認した．以後，計 12 回の委員会会議を実施し，実習状況・学生の情報について意見交換し，実習展開に必要な教育的支援についての検討を進めた．

SN 認定授与式を，医学部長，病院長，看護部長，学生課長臨席のもと 9 月 4 日に対面で開催した．領域実習が開始される 3 年生はコロナ禍のため「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ」で病院

実習ができておらず、この実習で初めて病院に入ることとなるため、病院見学をオリエンテーションに組み込み実施した。実習開始直前の臨地実習オリエンテーションは、9月6日に対面で実施し看護部長からの講話および、各実習病棟のオリエンテーション、そして病棟師長・実習指導者と学生との関係性の構築を促し、スムーズに実習に取り組めるよう「座談会」を開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類対応となったため、実習の実施にあたっては、医学部としての方針と病院感染管理部及び看護部から提示された感染対策を基に、実習実施に向けての感染対策指針を修正・作成・周知した。実習前には、医療従事者としての自覚とともに実習に向けての感染対策や健康管理についての説明を行い、実習を開始した。また実習に臨むにあたっては、医学部が実習生に向け作成した「プロフェッショナリズムについて」「新型コロナウイルス感染対策（オミクロン流行編）」を視聴することが必須とされ、医療従事者として感染対策への意識を高め実習に臨むよう指導を行った。

病棟実習に際しては、病棟の特殊性により一度に病棟に入る学生数の制限やN-95マスクの装着があったが概ねコロナ前の実習形態で実施できていた。

附属病院看護部との「実習連絡会」を3月13日に開催し、今年度の振り返りと次年度に向けての話し合いを実施した。

キャリア支援委員会

〔メンバー〕 濱田佳代子（委員長）、齋藤美和、別府朋加（～4月30日）

【目的】

1. 学生が主体的に進路選択および就職試験、進学などの準備ができるよう支援を行う。
2. 卒業生と母校のつながりの強化を図り、キャリア形成を支援する。

【活動概要】

在学生及び卒業生を対象に下記の活動を実施した。

1. オリエンテーション（4年生対象）
 - ・進路支援体制についての説明
2. 訪問者受入れ（卒業生他対象）
 - ・新人看護師「Go To Hometown」事業（兵庫県病院局）協力
 - ・職員募集に係る来学者対応
3. 就職（入学）試験対策（4年生対象）
 - ・医学部附属病院実技試験練習
 - ・神戸市民病院機構看護職員採用【特別推薦選考】学内推薦募集
4. 進路ガイダンス（3年生対象）
 - ・就職活動支援講座（動画）のMoodle配架
5. 進路に関する情報収集・提供（3, 4年生対象）
 - ・採用試験案内、及びインターンシップ案内の情報提供
 - ・進路経過に関する情報収集、及び学科会議報告
6. 附属病院への採用率増加対策（全学年対象）

- ・附属病院看護部就職説明会の共催

【今後の課題】

- ・卒業生のキャリア形成支援に取り組む.
- ・高知県内施設への就職活動支援を強化する.

国試支援委員会

〔メンバー〕 杉本加代（委員長），竹村多加，藤井千江美

【目的】

看護学科 4 年生の看護師及び保健師国家試験受験者全員が合格する.

【活動概要】

1. 国試対策説明会（4 月）
2. 国試対策に関する情報提供（5 月～1 月）
3. 学習室運用管理（6 月～2 月）
4. 看護師・保健師国試模試および模試成績返却時指導（10 月～1 月）

【活動結果】

看護学科 4 年生の看護師及び保健師国家試験受験者が全員合格した.

【今後の課題】

看護学科 4 年生には、模試実施や模試成績によるポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを継続する.

卒業研究支援委員会

〔メンバー〕 石岡洋子（委員長），中野葉子，吉村澄佳

【目的】

卒業研究論文作成過程が円滑に進むように、卒業研究論文スケジュールを作成し、指導教員及び関連部署との調整を行う.

【活動概要】

1. 2023 年度卒業研究論文の取り組み
 - 1) 卒業研究の質向上を図るために、「卒業研究中間発表会」を 9 月 20 日に Teams 同期型オンラインで開催し、全 16 グループが発表を行った. 事後のアンケート結果より発表の準備をすることで思考の整理ができ学びが深まったという意見が多く聞かれた.
 - 2) 卒業研究論文は、論文集を作成し看護学科教員に CD-R で配布した.
2. 2024 年度卒業研究論文への取り組み
 - 1) 卒業研究に取り組む学生を対象とした「卒業研究のための臨床研究講習会」を次世代医療創造センターに講義を依頼し、2024 年 3 月 1 日～8 日までオンデマンドで行った.

- 2) 学生の関心領域を中心にグループ編成を行い、最終的に全 17 グループとなった。
- 3) 今年度は 3 年生も参加した。
- 4) 感染対策のため 3 年生はオンライン、4 年生は対面で実施した。

【今後の課題】

次年度は学生に主体性をもたせるためにも、司会・タイムキーパーといった運営を学生が担当することを検討する必要がある。

入試委員会

〔メンバー〕 溝渕俊二（委員長）、山脇京子、大坂京子

【目的】

入学試験の円滑な実施運営を図ることを目的とする。

【活動概要】

今年も一般選抜（前期（定員 27 人）・後期（定員 6 人））、学校推薦型選抜 I（定員 27 人）試験を行い、60 人が入学した。第 3 年次編入学（定員 10 人）に関しては、5 人が入学した。入試自体は問題なく終えた。

【今後の課題】

推薦入試 I の出願資格を調査書全体の評定平均点が 3.8 以上の者を 4.0 以上に変更し、選抜方法の総合問題を小論文に変更して 3 年目である。試験倍率は 3.3 倍、2.3 倍そして今年度が 2.6 倍で推移している。今後の試験の在り方について検討した結果、推薦入試 I の小論文を総合問題に戻すことになった。

2025 年度の入試から、共通テストの外国語の選択が「【外国語】英・独・仏・中・韓から 1」から、英語のみに変更になる。

OSCE 検討委員会

〔メンバー〕 下元理恵（委員長）、大坂京子、山脇京子

【目的】

臨床に必要な看護判断・看護技術・態度・コミュニケーションの到達度に関して試験の計画・実施・評価を行う。

【活動概要】

2023 年 4 月から計 4 回の委員会を対面で実施し、OSCE 実施に向けて検討を行った。

対象は 4 年生とし、実習検討委員会と協同して統合看護実習の成績評価に含め実施した。模擬患者は、看護学科教員が行うよう試験内容を計画し、実施した。

【今後の課題】

評価基準と評価者間の評価の偏りが生じないようにする取り組みが必要である。

【研究活動】

高知大学看護学会委員会

〔メンバー〕 大坂京子（委員長），笹岡晴香（学会準備委員長），中野葉子（学会誌委員長）
山脇京子，石岡洋子，佐藤美樹，中島利佳，西井幸香

看護学会役員会

【目的】

高知大学看護学会役員会は，資産管理，予算・決算，会則および諸規定の改正・制定・廃止を審議すると共に，学会の運営一切に責任を持つ。

【活動概要】

下記の通り役員会および学会を開催した。

1. 5 月第 1 回役員会を対面で開催し，事業計画および第 18 回高知大学看護学会企画を検討した。
2. 6 月第 2 回役員会をメールにより開催し，企画概要の方針を決定した。
3. 11 月第 3 回役員会を Zoom により開催し，会計決算，次年度の役員改選，事業計画及び予算案を検討した。

【今後の課題】

学会演題発表者や学会参加者が少なくなっているため，学会の在り方および企画内容，学外への周知方法など検討が必要である。

看護学会準備委員会

【目的】

第 18 回高知大学看護学会の開催に向けて，その目的が達成される企画運営及び評価を行う。

【活動概要】

1. 第 18 回高知大学看護学会概要
 - 1) 日時：2023 年 11 月 11 日（土）（web 開催）
 - 2) メインテーマ：「未来につなげる看護の役割と専門性」
 - 3) 講演
講演 1：「特定行為研修について」
講師 多田邦子氏（高知大学医学部附属病院看護部長）
講演 2：「特定看護師としての活動の実際～特定看護師の役割とジレンマ～」
講師 眞鍋陽加氏（高知大学医学部附属病院）
講演 3：「外科病棟における特定看護師の役割」
講師 片岡 努氏（高知大学医学部附属病院）
 - 4) 一般演題研究発表：示説（オンラインディスカッションによるポスター発表 4 演題）
2. 学会参加者：90 名
3. 看護学会準備委員の開催：合計 4 回

【今後の課題】

・学外からの参加者が増えるように、関心が持てるテーマの設定および、外部への広報活動の充実を図る。

看護学会誌編集委員会

〔メンバー〕 中野葉子（委員長）、石岡洋子、中島利佳、西井幸香

【目的】

高知大学看護学会誌を編集し刊行する。

【活動概要】

1. 高知大学看護学会誌第 17 巻第 1 号を発行した。
2. 本号は、原著 1 編、報告 1 編および 2023 年 11 月 11 日に開催された第 17 回高知大学看護学会の報告からなっている。

【今後の課題】

- ・投稿数が増えるように情報発信をする。
- ・査読過程の充実を図る。

【組織活動】

教育・研究 FD 委員会

〔メンバー〕 寺下憲一郎（委員長）、杉本加代、柴田優里絵

【目的】

看護学科教員に対し、FD（Faculty Development）活動を企画開催し、教育力・研究力の向上を図る。

【活動概要】

1. FD の企画
2. FD の開催「学生と共に学びを創るための考え方」（2024 年 1 月 15 日）参加者 19 名

【今後の課題】

コロナ禍による授業や実習制限に伴うコミュニケーション不足が、学生間だけではなく学生と教員間にも発生していることが推察される。学生への教育の質の保障について再検討するにあたり、看護学科教員の教育について改めて考える機会や学生と教員とのコミュニケーションの在り方について慎重に議論を重ねる必要があるため、今後も看護学科教員の要望も踏まえた FD の企画及び開催をしていく。

看護学科看護部連携協議会

〔メンバー〕 佐藤美樹（委員長）、大坂京子、濱田佳代子

【目的】

看護部との連携を強め、人事交流、看護研究の推進、より良い看護師養成等について、看護部管理者との協議を推進する。

【活動概要】

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行した後も、実習が双方安全に遂行できるように、看護部の協力を仰ぎながら連携し、附属病院での実習体制を整えた。また、看護部からの依頼で「ファシリテーター研修会」の講師を紹介した。コロナ禍で中断していた会議を持ち、今年度の実習での課題について協議し、2024 年度からは定期的な委員会開催が決定した。

【今後の課題】

今後は、学科卒業生が高知大学医学部附属病院に多く就職することや、離職対策だけでなく、看護部との人事交流を含め、教育・実践の質向上に向けた方略について、看護部と話し合いを持ちながら取り組む。

入試・広報委員会

〔メンバー〕 齋藤美和（委員長）、下元理恵、竹村多加、柴田優里絵、別府朋加（～2023 年 4 月 30 日）

【目的】

高知大学医学部看護学科および総合人間自然科学研究科が広く地域社会の中に位置づけられ、入学生の確保につながるよう、本学の特色や現況および活動等に関するホームページを介した広報、教育・研究・社会活動等に関する年報の編集、入試に関する広報の企画・調整を行う。

【活動概要】

1. 2022 年度年報編集、ホームページ上の掲示
2. ホームページ管理（看護学科・看護学専攻）
3. 学生募集要項の送付先調整（看護学科・看護学専攻）
4. 2023 高知看護フェア動画にて参加（2023 年 5 月 13 日）
5. 私立高知高等学校大学訪問企画立案，入試室と共に実施（2023 年 7 月 12 日）
6. 夢ナビライブ講師推薦
7. オープンキャンパス企画・調整・関係各所と共に運営（2023 年 8 月 6 日）
8. 高知県立国際中・高等学校看護学科訪問企画立案，実施（2023 年 9 月 28 日）
9. 岡山県立玉島高校オンラインガイダンス（2023 年 12 月 8 日）
10. 個別に相談を受ける，出願直前！オンライン入試説明会・相談会を 2024 年 1 月に 3 枠実施予定であったが，希望者がいなかったため実施せず
11. 医学部案内企画・調整，共通教育広報誌・大学案内執筆依頼
12. 総務企画課広報調査対応（teams に様式をアップし随時受付に変更）

【今後の課題】

学部および大学院における受験者数の確保に向け，広報内容の充実とタイムリーな情報発信を行う。入試室や関係各所との連携とともに学生や教員との更なる連携も必要である。

国際連携推進委員会（台湾大学）

〔メンバー〕 奥谷文乃（委員長）、石岡洋子、藤井千江美

【目的】

交換留学により台湾の看護学教育や文化に触れることで国際的視点の看護を考える重要性を学ぶ。また、台湾大学から学生を受け入れ、英語でコミュニケーションをとりながら日本の看護学教育や文化を紹介することで国際的な大学間交流及び学生間交流を推進する。

【活動概要】

4年ぶりに活動が再開された。

まず、2024年1月22日～26日には国立台湾大学から6名の学生が来日した。1週間のプログラムには、附属病院・土佐山へき地診療所のほか外部施設として介護事業所・（株）垣内において、看護学の広い領域にわたって見学・実習を行なった。また高知特有の観光文化施設での体験を盛り込んだ。国際交流セミナーでは、両国の健康課題についての発表・討論が行われた。台湾大学の学生は全般にわたって積極的で、活発な質疑がなされた。

一方2024年3月11日～15日には、3名の学生が台湾での留学に参加した。4年ぶりの開催であったため先輩からの情報もなく、本来主体となる3年生の応募が少なく、1、2、3年生一人ずつであったことなど不安材料があったため、事前に藤井助教および大学院生（医学専攻：Leliさん）の協力も得て、英会話のレッスンを毎週行った。3名ともに台湾での得難い経験ができたことに非常に満足している。

すでに2024年度についても受入・派遣のスケジュールが決定しており、このまま活動の継続がなされる見込みである。

看護学科災害対策推進委員会

〔メンバー〕 吉村澄佳（委員長）、高橋美美

【目的】

教職員と学生の両者が、避難場所が明確になり、災害時の防災行動がとれる。

【活動概要】

COVID-19 感染拡大以降、医学科との共同活動は実施されていない。先端医療学コースの災害・救急医療研究班が作成した「オンラインツールを用いた災害教育プログラム」を各学年のオリエンテーション時に放映し、学生に視覚的な初動行動の理解と避難経路の確認を促した。

また、学内外の臨地実習における災害時における安全確保のため、実習の手引きに災害時の対応について項目を設け、学生の意識強化と完全確保に対応した。

【今後の課題】

- ・防災に関する知識と体験型訓練を行うための授業時間の確保
- ・指揮統制の訓練や避難体制の見直し
- ・看護学生の学外実習時の災害時の対応内容の見直し

親睦会

〔メンバー〕 松本智津（委員長）

【目的】

看護学科教職員の相互の親睦と互助を図る。

【活動概要】

1. 親睦会としての新任教員への歓迎品贈呈および昼食会の開催
2. 退官される教授の「最終講義」および祝賀会を開催
3. 退職職員への記念品の贈呈

**高知大学医学部看護学科
年報 2023（令和5）年度
2024年10月発行**

発行者 高知大学医学部看護学科
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL 088(880)2520
編集者 看護学科入試・広報委員会